

国民の世論と運動で、「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

ほっかいどうの社会保障

2014年1月10日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

1.18,19 地域社保協交流集会

誘い合って参加しましょう！

期待高まる 菊池・訓子府町長 講演 (18日18時～かでの2.7)
「町民にやさしい町づくりをめざして」 憲法の具体化が最優先課題

いよいよ、地域社保協交流集会が1週間後に迫りました。1日目(18日)の菊池一春・訓子府町長の講演への問い合わせも増えています。

訓子府町は、菊池町長を先頭に「町民にやさしい町づくり」を進めています。町長は、昨年の町議会でも、政策の1丁目1番地は「町民こそが主役」「町民総意のまちづくり」と強調し、「町民にやさしいまちづくり」に触れ、「地方自治体がもっとも求められているのは、1つは憲法25条という生存権、同時に憲法26条でいっている教育に対する責任と義務を果たすこと、これが行政の最優先課題で、すべての人にとってやさしいまちづくりと説明しています。(写真は新児童センターのオープニングセレモニー・左が町長) 今後、要求を実現させるとりくみをすすめる上で、貴重な講演です。是非参加を！



19日の学習交流 税理士が強まる国保などの徴収問題で講演

2日目(19日)の学習・交流では、介護・福祉や国保問題などを中心に議論します。国保問題では、滞納制裁が強まる中、元トッカン(特別国税徴収官)の本田秀行税理士から「大『滞納時代』を迎え、問われる徴収行政の在り方と租税徴収手続き」(仮称)をテーマに講演してもらうことになりました。

18日(土)18時～ かでの2.7 730 研修室
学習講演 菊池一春訓子府町長
19日(日) 9時～ 北海道民医連会館
学習と交流 (介護・国保問題など)

みんな悪政に怒っています 医療・介護改善署名 395筆
制度改善求め 1月9日 チカホで「介護の笑顔」フェア



「介護に笑顔を！ 道連絡会(勤医労が加盟)」は9日、安心できる介護制度の実現をアピールするために、札幌駅地下歩行空間(チカホ)で「笑顔の介護」フェアを開催し、34名が参加しました。「フェア」では署名の呼びかけとともに、「介護保険制度の説明」「高齢者住宅の選び方」などのミニ講座やライブ、介護用品の展示、介護相談を受け付け、多くの

の通行人が足を止めました。

署名の呼びかけに対し「介護保険制度はどんどん悪くなる」「年金が削られ大変」「消費税は福祉のためという大ウソ。医療も介護も削られる」といった声とともに395筆が寄せられました。ミニ講座には、常時10名～20名の通行人が足を止め聞き入り、介護相談も途切れることなく10名以上から寄せられました。介護用品の展示も通行人の目を引きました。2月23日には集会・デモも計画しています。(勤医労FAXニュースなどから)



白石姉妹孤立死から2年

どうなるか？生活保護『改革』

2月1日(土) 13:30～ 札幌教育文化会館小ホール

講師 稲葉 剛 氏(NPO法人 自立生活サポートセンター・もやい理事長)

いのちとくらしを壊す政治に怒る 2.23総決起集会

2月23日(日) 13時30分開場 かでの2.7ホール 集会後パレード

